

皆さんの不安にお応えします！

Q 眉山は崩壊しないの？

A 6月の大雨や熊本地震の影響により、薄く表面の一部が剥がれる表面剥離が発生しています。

Q 4月に発生した熊本地震の影響なの？

A 熊本地震でも土砂の流出はありましたが、一番の影響は、6月20日の時間雨量97mmにも及ぶ大雨の影響です。

過去から堆積した土砂が大雨で流出したものと考えられます。

Q 市街地や住宅地への影響はないの？

A 眉山においては、国や県が、治山事業や砂防事業による対策を以前から実施し、治山ダムや導流堤などの整備を年次的に行っています。

今回、発生した土石流は、治山施設および砂防施設内で収まっており、今すぐに市街地などへ危険が及ぶ状態には至っていません。

Q 今後の対策は？

A 今回、治山施設などの中に流出した土砂についても、排土などの対応を国や県が行っています。地震・大雨発生後、市としても現地視察を重ね、国や県への要請を行っています。8月10日には林野庁とヘリコプターによる現地確認を行いました。

Q どのレベルの地震や大雨で注意が必要ですか？

A 地震：震度5弱が目安。※震度4で小規模な崩れが発生する場合があります

大雨：眉山は時間雨量40mm～50mm降った場合に土石流が起きる可能性があります。

Q 溶岩ドームは大丈夫ですか？

A 一部で土石流が発生したものの、砂防施設で受け止めており、溶岩ドームには現時点で大きな異常は見られません。



島原市長
古川 隆三郎

古川市長から一言

4月に発生した熊本地震、そして6月に島原地方を襲った記録的な大雨で、眉山の至る所に表面剥離が確認されました。眉山付近にお住いの市民の方からは、「眉山が崩れるような大きな音がした」、「雨が降るたび、崩壊が心配で眠れない」など、不安の声が聞かれました。

そこで、市民の皆さんに「今の眉山」についての現状をお伝えし、眉山に対する不安に少しでも応えるため、今般、「広報しまばら臨時号」を発行しました。

今後も治山対策について、国や県と連携を図るとともに、しっかりと地元の声を届けながら、皆さんの不安を少しでも解消できるように努めてまいります。

現在、各地区の避難所の見直しを行い、各家庭などへ防災避難マップを配布する準備を進めています。また、町内会・自治会ごとに防災マップの作成や防災研修の開催などにも取り組みますので、気軽に市民安全課へ相談してください。

▶問い合わせ先 市民部市民安全課 (☎63-1111 内線241、243)